

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 いちばん星

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			広さのみで考えれば適切であるが、個別の支援には、現在パーテーション等を利用して工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			配置基準以上の数ではあるが、送迎が重なった場合は、引き続き工夫していく。
	③	事業所の設備等について、利用者の特性に合った配慮がなされているか。		○		利用者の特性に合った支援には個室が更に必要と感じる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			全職員で行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。			○	今回が初めての調査のため、今後の課題である。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報等で公開しているか。			○	今後、会報やホームページへ掲載を予定している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	現在、外部評価は行っていないが、今後検討する必要がある。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			定期的に事業所内勉強会を行っている。外部の研修会の参加も引き続き職員に促していく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			支援計画の為に会議時には、ニーズ・課題分析等に沿って討議し、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された基本情報と課題分析の書式を使用しているか。		○		事業所独自の書式を使用しているが、基準を項目として掲げていないため、今後検討すべきである。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			全職員で行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			全職員で、前月の振り返りをし、時期や子供に合っているか等を話し合い、プログラムの目的を明確にし決定している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。		○		課題設定に関しては、利用者の体調等を含め、活動時間を考慮し支援している。また、1週間ごとの指導ポイントを決めて支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			障害特性を考慮しながら、合わせて作成している。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			活動内容の確認と指導すべき要点及役割分担については、日課として非常勤職員も揃った時点で実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。		○		必ず翌日に振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日誌の内容を確認し、指導ポイント作成につなげている。
適切な支援の提供	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。		○		モニタリングが不十分のため、今後書式等を整え実施していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		ガイドライン総則の読み込みが不十分である。勉強会時にガイドラインを活用していく。
	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			直接支援者も参加できるように、活動時間外の開催をお願いしている。
関係機関や保護者	⑲	学校との情報共有(年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			学校や保護者の情報提供により実施している。
	⑲	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○	現在該当者がいないため実施していないが、今後そのような場合は是非情報共有したいと考えている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			○	現在、保護者や移行先事業所からの要望がないため実施していないが、今後は積極的に働きかけていく必要がある。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			○	専門機関主催の研修には参加しており、現状に取り込むようになっているが、アドバイスを受けるまでには至っておらず、今後検討していく。

との連携	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が必要か。		○	必要性は感じているが、年齢の違いもあり、現時点での交流は難しい。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○	法人からの参加はあるが、事業所としては一部のみ参加している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	退所時、活動内容と共に様子を伝えたり、必要場合は活動時間外に連絡を取っている。今後さらに伝え方等を工夫していく必要がある。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		○	具体的な支援方法での支援は行っていないが、保護者の日常的な困りごとに関しては、ともに考えるよう努めている。
保護者への説明責任	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	支援の内容に関しては、個別支援計画をもとに行っている。運営規定、利用者負担等については、文書にて説明しているが、大幅な改定時には説明会等を開催することを検討している。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		○	退所時や個別面談での相談を受けた場合は、翌日の話し合いの議題として共有、検討し、その結果を伝えている。事業所から保護者への提案も積極的に行っている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○	父母の会の活動には協力している。保護者会については、現在行っていないので、今後検討していく。
	㉜	保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	現時点において苦情はないが、あった場合は迅速かつ適切に対応していく。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか。		○	年4回の会報や毎月の活動予定表を発行し、状況等を伝えている。
	㉞	個人情報に十分注意しているか。		○	個人の作品や写真掲載に関する許諾を得ているが、家庭の状況も変化するため、定期的に丁寧な説明と許諾を得る必要がある。
	㉟	保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	予定表の発行を行うと共に、書類の受け渡しチェック等を行っている。場合によっては再度確認等を行っている。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	法人として年1回「こまつり」と称し、地域の皆さんに声をかけているが、まだまだ周知不足と感じている。
非常時の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		○	各学校の対応を確認し、現在、検討、作成中である。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか。		○	年2回実施している。今後は、さらにさまざまな災害を想定して実施していく。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	常勤職員は虐待防止の研修を受講しているものの、非常勤職員までは受講していない。今後は全ての職員の受講を促していく。職員勉強会時に取り組んでいるが、具体的事例を取り上げ、適切な対応を取り入れていく。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束を行わないことを基本としているが、身体拘束のとらえ方等、事業所内において基準を定める必要がある。
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在、医師の指示書による対応はしていないが、今後該当する利用者には保護者を通じて指示書を提示してもらうようにする。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。		○	ヒヤリハット事項を記載して、職員に周知している。